取扱説明書

Bearmax

マルチ・オーディオ・システム

商品型番：MA-17CD
（エム・エー　シー・ディー）

この度は「マルチ・オーディオ・システム｜MA-17CD」を
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読み下さい。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

© 株式会社クマザキエイム

■目　次

■目　　次 …… 2
■セット内容 …… 2
■ご使用前の準備 …… 2
■安全上のご注意 …… 3
■各部の名称 …… 4、5
■レコード・プレーヤー
□ご使用の前に …… 6
□レコードを聴く（通常モード） …… 6
□レコードを聴く（自動停止モード） …… 6
□レコードを録音する …… 7
■AM ／ FM ラジオ
□ラジオを聴く …… 8
□ラジオを録音する …… 8
■カセットテープ
□カセットテープを聴く …… 9
□カセットテープを録音する …… 9
■CD プレーヤー
□CDを聴く ……10
□プログラム再生でCDを聴く ……10
□CDを録音する ……11
□１曲を選んで録音する ……11
□アルバム全曲を録音する ……11
■SD カード・USB メモリ
□SD／SDHCカードを聴く ……12
□USBメモリを聴く ……12
□録音されたMP3ファイル消去する ……13
■外部入力
□外部機器の音声を聴く ……14
□外部機器の音声を録音する ……14
■音声出力 ……14
■主な仕様 ……15
■保証とアフターサービス ……16

■セット内容

※箱を開けたら以下のセット内容を必ず確認してください。

1. MA-17CD 本体　　2. リモートコントローラー　　3. 交換用レコード針 × 1

4. 45 回転レコード用アダプタ : 本体上面レコードプレーヤー部に収納してあります。

5. 取扱説明書（本誌）

■ご使用前の準備

■設置しましょう

① 本体を箱から取出し、硬く平らな場所に置きます。**1)レコードプレーヤー・カバー**がきちんと開くように設置場所の上部も充分に空間を取ってください。

② 本体背面の **34)電源コード**をコンセントに挿し込みます。

③ 本体前面 **17)音量調整ツマミ**を右に回し、電源を入れます。

④ **13)液晶表示部**が青く点灯したら、準備完了です。

■ 安全上のご注意

※電気製品は、正しく取り扱うことで安全にお使いいただけます。ご使用前に次の注意事項をよくお読みになり、必ずお守りください。
※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、「警告」と「注意」に区分しています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】
△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。
● の記号は「しなければならない行為」を示します。

⚠ 警告

●100V以外禁止
交流100V以外の電圧では使用しないでください。
自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。

●電源コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら、電源プラグをコンセントを抜いてください。

●電源コードを傷つけない
破損し、火災・感電の原因になります。

●分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。
火災・故障の原因になります。

●禁止
CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

●水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにし、水がかかるような場所では使わないでください。
水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。

●禁止
内部に小さな金属類（ヘアピンなど）や燃えやすいものをいれないでください。
火災・感電の原因となります。

●ぬれ手禁止
ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。
感電する恐れがあります。

●本体の通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となる場合があります。

●点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください（有料）。
そのまま使用すると火災等の原因となります。

⚠ 注意

●ぐらついた台や傾いた所に置かない
落下し、ケガ・故障の原因になります。

●温度の異常に高い場所で使用しない
通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因になることがあります。

●調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。

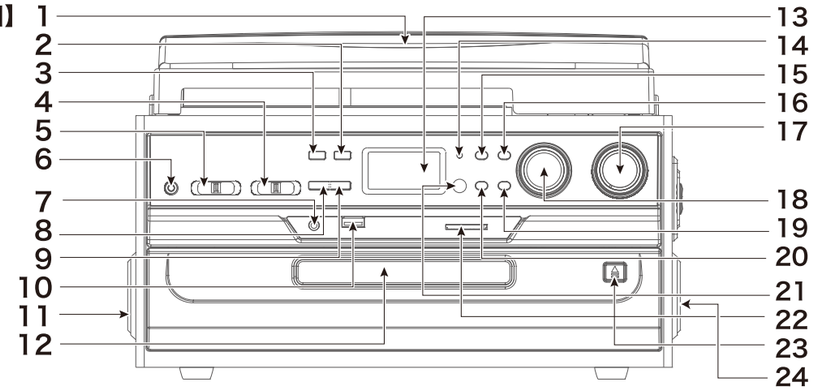
●駐車中の自動車内など、高温になる場所で保管しない
樹脂部品の変形の原因になります。

●電源コードをコンセントから抜く
長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

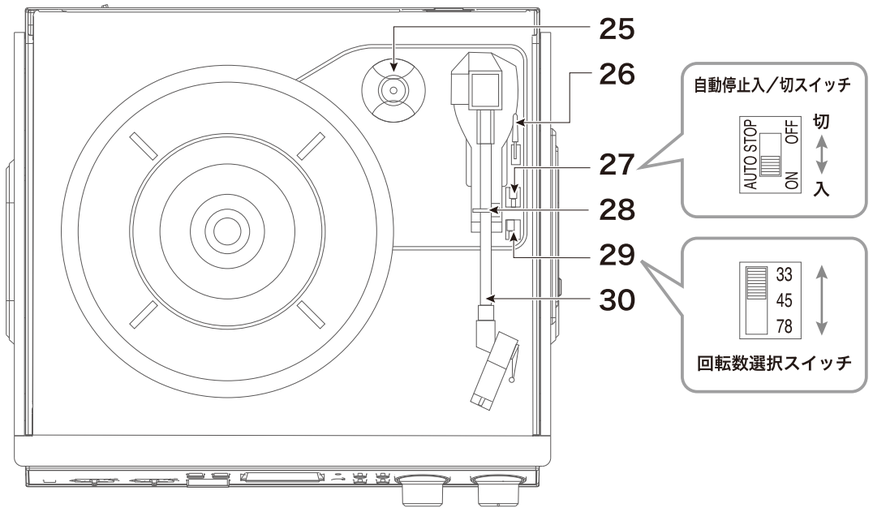
●電源を切る前には音量を下げる
再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。

■各部の名称

【本体正面図】

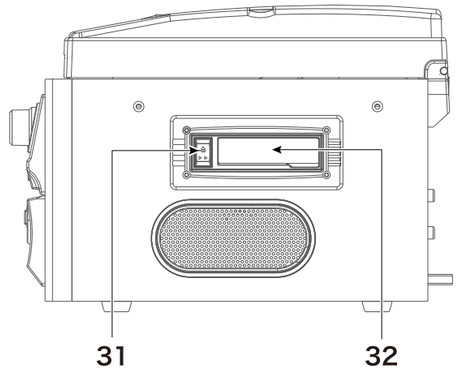


【本体上面図】

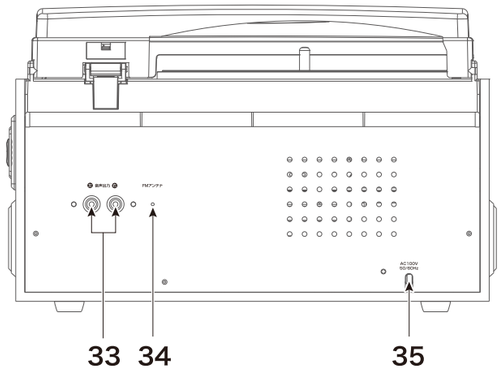


1. レコードプレーヤー・カバー
2. CD／USB／SD 切替ボタン
3. 録音ボタン
4. ラジオ切替スイッチ
5. 機能切替スイッチ
6. 外部入力端子
7. ヘッドホン端子
8. 消去ボタン
9. プログラムボタン
10. USB 挿入口
11. 右スピーカー
12. CD ドア
13. 液晶表示部
14. 電源インジケーター
15. 再生／一時停止ボタン
16. 停止ボタン
17. 音量調整ツマミ
18. ラジオ選局ツマミ
19. 次ボタン
20. 前ボタン
21. リモコン受信部
22. SD／SDHC カード挿入口
23. CD ドア開閉ボタン
24. 左スピーカー
25. 45 回転用アダプタ
26. リフトレバー
27. 自動停止入／切スイッチ
28. アームレスト
29. 回転数選択スイッチ
30. アーム

【本体右側面図】



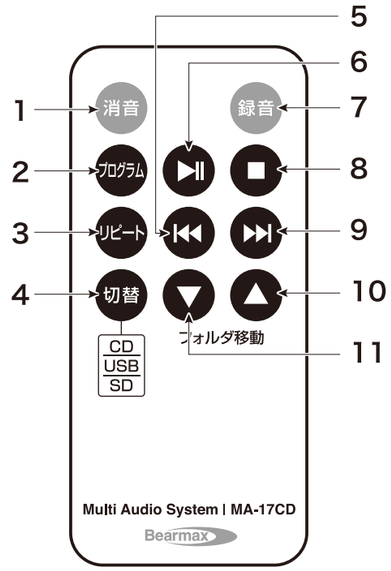
【本体背面図】



31. カセットテープ操作ボタン　32. カセットテープ・プレーヤー　33. 音声出力端子
34. FM アンテナ　35. 電源コード

【リモートコントローラー】

1. 消音
2. プログラム
3. リピート
4. 切替(CD／USB／SD)
5. 前ボタン
6. 再生／一時停止
7. 録音
8. 停止ボタン
9. 次ボタン
10. 次フォルダ移動
11. 前フォルダ移動

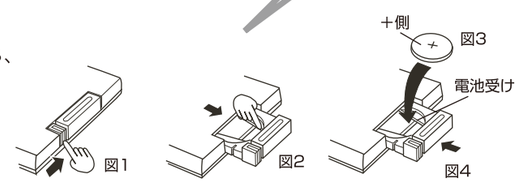


【電池について】

本製品のリモコンで使用する電池の型番は「**CR2025**」です。
お求めの際は型番をお間違えない様ご注意ください。

■電池の交換方法

① リモコンの裏面にあるタブを矢印の方向に引きながら、電池受けを引き出します。(図 1/2)
② ボタン電池「CR2025」を、＋プラス側を上にして電池受けに入れます。(図 3)
③ 電池受けを元に戻します。(図 4)



■ご使用の前に

① **1)レコードプレーヤー・カバー**を開けます。
② アーム先端のカートリッジに付いている、**白いレコード針保護**カバーを外します。
③ 再生するレコード盤の回転数に応じて **29)回転数選択スイッチ**を設定します。
④ ターンテーブルにレコードを置きます。(必要に応じて **25)45回転アダプタ**を使用してください。)
⑤ **28)アームレスト**の固定用のツメを外側に押し、アームのロックを解除します。

■レコードを聴く（自動停止スイッチ／入:ON)

① **5)機能切替スイッチ**を“ **レコード** ”に合わせます。
※この時、**13)液晶表示部**は“PHON”と表示されます。
② **26)リフトレバー**を奥側に倒すと、アームが上がります。
③ カートリッジのツマミを持ち、アームをゆっくりとターンテーブル側に動かします。
④ アームを動かすと、ターンテーブルが回転し始めます。
⑤ アームを任意の位置で合わせ、**26)リフトレバー**を前側に倒すと、針がレコード盤の上に下り、レコードが再生します。
⑥ **17)音量調整ツマミ**を回し、ご希望の音量に調整します。
⑦ 再生が終了すると、自動的にターンテーブルの回転が止まります。
⑧ アームを **28)アームレストに戻します。**

注意
通常の使用には、**27)自動停止入／切スイッチ**を**「入: ON」**側にしてください。
再生が終了すると、自動的にターンテーブルの回転が止まります。
EP(ドーナツ盤)や SP盤の場合、種類によって途中で再生が止まる事がありますので、**27)自動停止入／切スイッチ**を**「切: OFF」**側にしてください。

■レコードを聴く（自動停止スイッチ／切:OFF)

① **5)機能切替スイッチ**を“ **レコード** ”に合わせます。ターンテーブルが自動的に回転を始めます。
※この時、**13)液晶表示部**は“PHON”と表示されます。
② **26)リフトレバー**を奥側に倒すと、アームが上がります。
③ カートリッジのツマミを持ち、アームをゆっくりとターンテーブル側に動かします。
④ アームを任意の位置で合わせ、**26)リフトレバー**を前側に倒すと、針がレコード盤の上に下り、レコードが再生します。
⑤ **17)音量調整ツマミ**を回し、ご希望の音量に調整します。
⑥ 再生を終了する場合は **26)リフトレバー**を奥側に倒します。
⑦ アームを **28)アームレストに戻します**

※自動停止モードでも、再生するレコード盤によっては自動で停止しない場合があります。
※ご使用の前に必ず再生するレコード盤の回転数をお確かめください。

■レコードを録音する

本製品はレコード盤の音声をSD／SDHCカードまたはUSBメモリに録音出来ます。
ここではレコード盤の音声をSD／SDHCカードに録音する手順を説明します。
USBメモリに録音する場合は“SD／SDHCカード”の部分を“USBメモリ”に置き換えてください。

① 前頁「**■ご使用の前に**」の手順に従い、レコード再生の準備をします。
② **22)SD／SDHCカード挿入口**に **SD／SDHCカード**を挿入します。
③ 前頁「**■レコードを聴く**」の手順に従い、レコードを再生します。
④ **3)録音**ボタンを押すと、3～4秒後に 13)液晶表示部に“SD”のアイコンが点滅し録音状態になります。
⑤ 録音を終了する場合は **16)停止**ボタンを押します。13)液晶表示部に“END”と表示され、録音が終了し、その後“PHON”と表示されレコード再生モードに戻ります。

※録音速度は 1：1 の等倍速です。
※録音フォーマットは、MP3(128kbps)に設定されています。他の形式は選択出来ません。
※SD／USBが認識されない場合、パソコンでSD／USBを「FAT32」のファイルシステムでフォーマットを行ってください。

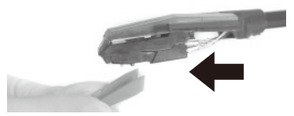
■レコード針のお手入れ

【針の抜き方】

①針ホルダを持って、赤いカートリッジを矢印の方向へ下げます。

②前方へ引き抜きます。

【針の入れ方】



①矢印の部位を合わせるように、斜め下からカートリッジを入れます。

②クリック感のあるところまで上に引き上げます。

■針先の交換：約200時間を目安に針を交換してください。 ※使用条件によってはこれよりも短くなります。
■針先のお手入れ：柔らかいブラシ、筆などでホコリやゴミを取り除いてください。指先で行うと針先を破損する原因となります。

■ AM ／ FM ラジオ

■ラジオを聴く

① **5)機能切替スイッチ**を“ **ラジオ** ”に合わせます。

② **4)ラジオ切替スイッチ**でお好みのバンドに合わせます。（AM／FMまたはFMステレオ）

③ **18)ラジオ選局ツマミ**を左右いずれかに「カチッ」と音がするまで回し、受信周波数を上下させ、受信したい局の周波数に合わせます。

※ラジオ選局ツマミは右に回すと数字が進み、左に回すと戻ります。

④ **18)ラジオ選局ツマミ**を回し、ツマミを2秒程回したまま止めると、自動選局モードになります。このモードではラジオ局が検出されると自動的に停止します。

⑤ ご希望の局の周波数が合うまで、3、４を繰り返します。

AM：内蔵のバーアンテナで受信します。受信状態が悪い場合は本体の角度や設置場所を変えると改善される場合があります。

FM：本体背面から伸びているワイヤーアンテナで受信します。受信状態が悪い場合はワイヤーアンテナの角度や方向を変えると、改善される場合があります。

FM ステレオ：ステレオ受信時は **13)液晶表示部**に“ST”のアイコンが点滅します。ステレオ電波が弱い場合は通常のモノラルで受信してください。

■ラジオを録音する

本製品はFMまたはFMステレオラジオをSD／SDHCカードまたはUSBメモリに録音出来ます。
ここではFMまたはFMステレオラジオをSD／SDHCカードに録音する手順を説明します。
USBメモリに録音する場合は“SD／SDHCカード”の部分を“USBメモリ”に置き換えてください。

① 上記「**■ラジオを聴く**」の手順に従い、録音したいFMラジオ局を設定します。

② **22)SD／SDHCカード挿入口**に **SD／SDHCカード**を挿入します。

③ 録音したいところで **3)録音**ボタンを押すと、3～４秒後に 13)液晶表示部に “SD” のアイコンが点滅し録音状態になります。

④ 録音を終了する場合は **16)停止**ボタンを押します。13)液晶表示部に “END” と表示され、録音が終了し、その後 “TUNE” と表示されレコード再生モードに戻ります。

※AMラジオは録音出来ませんのでご注意ください。
※録音速度は 1：1 の等倍速です。
※録音フォーマットは、MP3（128kbps）に設定されています。他の形式は選択出来ません。
※FM または FM ステレオの録音中は受信周波数の調整は出来ません。
※SD／USBが認識されない場合、パソコンでSD／USBを「FAT32」のファイルシステムでフォーマットを行ってください。

■ カセットテープ

■カセットテープを聴く

① **5)機能切替スイッチ**を“ **テープ／外部入力** ”に合わせます。

② お手持ちの音声の収録されているカセットテープを、**31)カセットテープ挿入口**に挿入します。

③カセットテープは挿入すると自動的に再生を開始します。

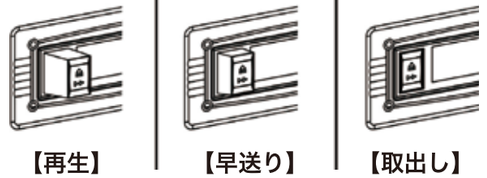
④ **17)音量調整ツマミ**を回し、ご希望の音量に調整します。

⑤ 再生を停止する時は、**32)カセット操作ボタン**を奥まで強く押します。再生が止まり、カセットテープが取出されます。

18)カセット操作ボタンについて

※本機のカセットプレーヤーでのボタン操作は右図の通りです。

※本機ではカセットテープへの録音は出来ません。
※本機では巻き戻しは出来ません。



■カセットテープを録音する

本製品はカセットテープの音声をSD／SDHCカードまたはUSBメモリに録音出来ます。
ここではカセットテープの音声をSD／SDHCカードに録音する手順を説明します。
USBメモリに録音する場合は“SD／SDHCカード”の部分を“USBメモリ”に置き換えてください。

① 上記「**■カセットテープを聴く**」の手順に従い、録音したいカセットテープを設定します。

② **22)SD／SDHCカード挿入口**に **SD／SDHCカード**を挿入します。

③ **3)録音**ボタンを押すと、3～４秒後に 13)液晶表示部に “SD” のアイコンが点滅し録音状態になります。

④ 録音を終了する場合は **16)停止**ボタンを押します。13)液晶表示部に “END” と表示され、録音が終了し、その後 “TAPE” と表示されレコード再生モードに戻ります。

※録音速度は 1：1 の等倍速です。
※録音フォーマットは、MP3（128kbps）に設定されています。他の形式は選択出来ません。
※SD／USBが認識されない場合、パソコンでSD／USBを「FAT32」のファイルシステムでフォーマットを行ってください。

■ CDプレーヤー

■CDを聴く

① **5)機能切替スイッチ**を “**CD/USB/SD**” に合わせます。
② **2)CD/USB/SD 切替ボタン**を押して **13)液晶表示部**に “CD” が表示されている事を確認します。
③ **23)CDドア開閉ボタン**を押して CDトレイ開けます。
④ お手持ちのCDをCDトレイに置き、**22)CDドア開閉ボタン**を押して CDトレイ閉じます。
⑤ CDを読み込み、自動的に再生します。
⑥ **17)音量調整ツマミ**を回し、ご希望の音量に調整します。
⑦ 再生を停止する時は、**16)停止ボタン**を押します。

■プログラム再生でCDを聴く

本製品はCDの曲をお好みの順番に記憶させて、再生する事が出来ます。
プログラムモードでは１回の設定で最大20曲まで、記憶させる事が出来ます。

① 前頁「**■CDを聴く**」の手順に従い、録音したいCDを挿入します。
② CDを読み込み、自動的に再生しますので、**16)停止ボタン**を押して再生を停止します。
③ **9)プログラムボタン**を押します。13)液晶表示部に “P01”（設定１曲目）が点滅表示されます。
④ **19)次ボタン**を押すたびに、“001...002...” と表示されますので、設定したい曲を選びます。
⑤ **9)プログラムボタン**を押します。13)液晶表示部に “P02”（設定２曲目）が点滅表示されますので、上記の手順に従って設定したい曲を選びます。
⑥ 設定が終わったら、**15)再生／一時停止ボタン**を押して、プログラム再生を開始します。
⑦ **17)音量調整ツマミ**を回し、ご希望の音量に調整します。
⑧ 再生を停止する時は、**16)停止ボタン**を押します。
※CDトレイを開けると、記憶されたプログラムは消去されます。

※停止中に **15)再生／一時停止ボタン**を押すと再生、再生中に押すと一時停止します。
※**19)次ボタン**を押すと次曲に進み、長押しすると早送り再生をします。
※**20)前ボタン**を押すと前曲に戻り、長押しすると早戻し再生をします。

■CDを録音する

本製品はCDの音声をSD／SDHCカードまたはUSBメモリに録音する事が出来ます。
ここではCDの音声をSD／SDHCカードに録音する手順を説明します。
USBメモリに録音する場合は“SD／SDHCカード”の部分を“USBメモリ”に置き換えてください。

■1曲を選んで録音する

① 前頁「**■CDを聴く**」の手順に従い、録音したいCDを挿入します。
② CDを読み込み、自動的に再生しますので、**16)停止ボタン**を押して再生を停止します。
③ CDに収録されている曲数が**13)液晶表示部**に表示されます。（例：６曲入の場合 “006”）
④ **19)次ボタン**を押して、録音したい曲を選びます。
⑤ **22)SD／SDHCカード挿入口**に **SD／SDHCカード**を挿入します。
⑥ **3)録音**ボタンを押すと **13)液晶表示部**に “ONE” と点滅表示されます。
⑦ 再度 **3)録音**ボタンを押すと **13)液晶表示部**に “SD” のアイコンが点滅し録音が始まります。
⑧ 曲が終わると自動的に録音を停止します。**13)液晶表示部**に “END” と表示されます。

■アルバム全曲録音する

① 前頁「**■CDを聴く**」の手順に従い、録音したいCDを挿入します。
② CDを読み込み、自動的に再生しますので、**16)停止ボタン**を押して再生を停止します。
③ CDに収録されている曲数が**13)液晶表示部**に表示されます。（例：６曲入の場合 “006”）
④ **22)SD／SDHCカード挿入口**に **SD／SDHCカード**を挿入します。
⑤ **3)録音**ボタンを押すと **13)液晶表示部**に “ONE” と点滅表示されます。
⑥ **19)次ボタン**を押すと、**13)液晶表示部**に “ALL” と点滅表示されます。
⑦ 再度 **3)録音**ボタンを押すと **13)液晶表示部**に “SD” のアイコンが点滅し録音が始まります。
⑧ 曲が終わると自動的に録音を停止します。**13)液晶表示部**に “END” と表示されます。

※途中で録音を終了する場合は **16)停止**ボタンを押します
※録音速度は１：１の等倍速です。
※録音フォーマットは、MP3（128kbps）に設定されています。他の形式は選択出来ません。
※SD／USBが認識されない場合、パソコンでSD／USBを「FAT32」のファイルシステムでフォーマットを行ってください。

■ SDカード／USBメモリ

本機またはパソコン等で録音・保存されたSD／SDHCカードとUSBメモリ内のMP3ファイルを再生する事が出来ます。

■SD／SDHCカードを聴く

① **22)SD／SDHCカード挿入口に**録音済みのSDもしくはSDHCカードを挿し込みます。

② **5)機能切替スイッチ**を “**CD/USB/SD**” に合わせます。

③ **2)CD/USB/SD 切替ボタン**を２回押して **13)液晶表示部**に “CARD” が表示されている事を確認します。

④ **13)液晶表示部**に “SD” のアイコンが点灯し、“READ” が点滅表示され、カードに録音されているファイルを読み込みます。

⑤ “SD” のアイコンの横に “MP3” が点灯し、“F01”→“001” と順に表示されます。

⑥ 自動的に再生が始まります。

⑦ **17)音量調整ツマミ**を回し、ご希望の音量に調整します。

⑧ 再生を停止する時は、**16)停止ボタン**を押します。

■USBメモリを聴く

① **10)USB挿入口に**録音済みのUSBメモリを挿し込みます。

② **5)機能切替スイッチ**を “**CD/USB/SD**” に合わせます。

③ **2)CD/USB/SD 切替ボタン**を１回押して **13)液晶表示部**に “USB” が表示されている事を確認します。

④ **13)液晶表示部**に “USB” のアイコンが点灯し、“READ” が点滅表示され、メモリに録音されているファイルを読み込みます。

⑤ “USB” のアイコンの横に “MP3” が点灯し、“F01”→“001” と順に表示されます。

⑥ 自動的に再生が始まります。

⑦ **17)音量調整ツマミ**を回し、ご希望の音量に調整します。

⑧ 再生を停止する時は、**16)停止ボタン**を押します。

※停止中に **15)再生／一時停止ボタン**を押すと再生、再生中に押すと一時停止します。
※**19)次ボタン**を押すと次曲に進み、長押しすると早送り再生をします。
※**20)前ボタン**を押すと前曲に戻り、長押しすると早戻し再生をします。
※SD／USBが認識されない場合、パソコンでSD／USBを「FAT32」のファイルシステムでフォーマットを行ってください。

■録音した MP3ファイルを消去する

ここではSD／SDHCカードに録音されたMP3ファイルを消去する手順を説明します。
USBメモリに録音されたMP3ファイルを消去する場合は、“SD／SDHCカード”の部分を“USBメモリ”に置き換えてください。

① 録音済みのSDもしくはSDHCカードを **22)SD／SDHCカード挿入口に、**挿し込みます。

② **5)機能切替スイッチ**を “**CD/USB/SD**” に合わせます。

③ **2)CD/USB/SD 切替ボタン**を２回押して **13)液晶表示部**に “CARD” が表示されている事を確認します。

④ **13)液晶表示部**に “SD” のアイコンが点灯し、“READ” が点滅表示され、カードに録音されているファイルを読み込みます。

⑤ “SD” のアイコンの横に “MP3” が点灯し、“F01”→“001” と順に表示されます。

⑥ 自動的に再生が始まりますので、**16)停止ボタン**を押し、再生を停止します。

⑦ **8)消去ボタン**を押します。

⑧ **13)液晶表示部**に “ONE” と点滅表示されます。**19)次ボタン**を押すと “DIR”、もう一度押すと “ALL” と点滅表示されますので、消去したいモードを選びます。

⑨ 再度 **8)消去ボタン**を押します。

⑩ MP3 ファイルが消去され “F01”→ 曲番号 “＊＊＊” と順に表示されたら消去は完了です。

※上記「曲番号 “＊＊＊”」の “＊＊＊” の部分には “001” 等、３桁の数字が表示されます。

【消去モードについて】

消去したい項目に合わせて３つのモードから選択出来ます。ファイルを消去する際は、必ずご希望にあったモードをお選びください。

消去モード 1. ONE：１曲だけ消去したい時に選択します。２曲目以降を消去したい場合は **19)次ボタン**を押して順次選択してください。

消去モード 2. DIR：カードもしくはメモリ内のフォルダ(F01, F02...)のデータを消去します。

消去モード 3. ALL：カードもしくはメモリ内のすべてのデータを消去します。

※ PCで保存したMP3ファイルの曲名は表示されません。
※ PCで保存したMP3ファイルは消去出来ない場合があります。
※消去した MP3ファイルは元に戻せませんのでご注意ください。

■ 外部入力

本機では外部入力端子を使い、CDプレーヤー／ラジカセ等、外部オーディオ機器の音声を再生しSD／SDHCカードまたはUSBメモリに録音する事が出来ます。

■外部機器の音声を聴く

① **6)外部入力端子**とお手持ちの外部機器を接続します。
② **5)機能切替スイッチ**を“**テープ／外部入力**”に合わせます。
③ **13)液晶表示部**に“AUX”が点灯します。
④ 外部機器を再生します。本機のスピーカーから音声が出力されます。
⑤ **17)音量調整ツマミ**を回し、ご希望の音量に調整します。
⑤ 再生を停止する時は、外部機器を停止します。

■外部機器の音声を録音する

ここでは本機に接続した外部機器の音声をSD／SDHCカードに録音する手順を説明します。
USBメモリに録音する場合は“SD／SDHCカード”の部分を“USBメモリ”に置き換えてください。

① 上記「**■外部機器の音声を聴く**」の手順に従い、外部機器を設定します。
② **22)SD／SDHCカード挿入口**に**SD／SDHCカード**を挿入します。
③ **3)録音**ボタンを押すと、3～４秒後に 13)液晶表示部に“SD”のアイコンが点滅し録音状態になります。
④ 録音を終了する場合は **16)停止**ボタンを押します。13)液晶表示部に“END”と表示され、録音が終了し、その後“AUX”と表示されレコード再生モードに戻ります。

※音声出力端子の無い外部機器は接続出来ません。　　※録音速度は１：１の等倍速です。
※録音フォーマットは、MP3(128kbps)に設定されています。他の形式は選択出来ません。
※SD／USBが認識されない場合、パソコンでSD／USBを「FAT32」のファイルシステムでフォーマットを行ってください。

■ 音声出力

本機では **33)**音声出力端子にアンプ内蔵スピーカー等を接続し、音声を出力出来ます。

※本機側端子の形式はRCAピン端子です。接続の際は別途ケーブルをお買い求めください。
※接続した機器と内蔵スピーカーの選択は出来ません。接続した機器からのみ音声をお聴きになりたい場合は、本機の音量を最小にしてください。
※音量の調整は接続した機器側で行ってください。

■ 主な仕様

製品共通	定格入力	AC100V　50/60Hz
	消費電力	22.5W
	最大外形寸法(約)	幅:325 × 奥:283 × 高:195mm
	本体質量(約)	3.8kg
	電源コード長(約)	1600mm
	製品材質	MDF合板、プラスティック
スピーカー	インピーダンス	4Ω
	実用最大出力	3W + 3W
	周波数特性	50Hz ～18kHz
AM／FMラジオ	受信可能周波数	AM：522 ～ 1629kHz
		FM：76 ～ 90MHz
レコードプレーヤー	回転数	33／45／78
	レコード針材質	サファイア　(寿命:約200時間)
カセットプレーヤー	対応テープ形式	Type1(ノーマル)
CDプレーヤー	再生対応ディスク	AUDIO CD、CD-R/RW
	再生対応ファイルフォーマット	MP3　64 ～ 320kbps
SD/SDHC プレーヤー	再生対応メディア	SD、SDHC　CLASS4
	ディスク容量	SD：32MB ～ 2GB　SDHC：4GB ～ 32GB
	再生対応ファイルフォーマット	MP3　64 ～ 320kbps
SD/SDHC レコーダー	録音対応メディア	SD、SDHC　CLASS4
	ディスク容量	SD：32MB ～ 2GB　SDHC：4GB ～ 32GB
	録音対応ファイルフォーマット	MP3　128kbps
USBプレーヤー	再生対応メディア	USBメモリ
	ディスク容量	32MB ～ 32GB
	再生対応ファイルフォーマット	MP3　64 ～ 320kbps
USBレコーダー	録音対応メディア	USBメモリ
	ディスク容量	32MB ～ 32GB
	録音対応ファイルフォーマット	MP3　128kbps

※CD–R、CD–RWに記録されたディスクの再生は、ディスクの品質、記録状態、録音環境により再生できない場合があります。
※SD／USBが認識されない場合、パソコンでSD／USBを「FAT32」のファイルシステムでフォーマットを行ってください。
※SD、SDHCカードおよびUSBメモリに記録されたファイルの再生は、ディスクの品質、記録状態、録音環境により再生できない場合があります。
※コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。
※**本機で再生できないディスク**　コピーコントロールCD：本機では音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はいたしません。
※カセットテープはノーマル・タイプで60分以内の物をご使用ください。
※製品の仕様は性能向上等の理由から予告無く変更する場合がございます。